

障害者就労促進

関連する 2020 年までの目標

○障害者の実雇用率 2.0% (平成 25 年 6 月 1 日閣議決定「日本再興戦略」により策定)

項目	2013 年度 実績	2014 年度 実績	2015 年度 目標	2015 年度 実績
①ハローワークにおける障害者の就職件数	77,883 件	84,602 件	前年度 以上	90,191 件
②障害者の雇用率達成企業割合※1	44.7% (2014 年 6 月 1 日時点)	47.2% (2015 年 6 月 1 日 時点)	前年度実績と比較 して 1.5pt 以上上 昇	集計中 (2016 年 6 月 1 日 時点)
③精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合	69.3% ※2 (66.2% ※3)	69.1% ※2 (66.4% ※3)	65%以上 ※3	71.6% ※3

(備考)

※1 【厚生労働省「障害者雇用状況報告」】50人以上規模の企業において法定雇用率を達成(注)している企業の割合

(注) 法定雇用障害者数に不足数がないこと。

※2 就職(トライアル雇用含む)、職業紹介、職場実習、職業訓練・職場適応訓練へのあっせん、面接訓練

※3 就職(トライアル雇用含む)、職業紹介、職業訓練・職場適応訓練へのあっせん

2015 年度目標設定における考え方

- ① ハローワークにおける障害者の就職件数
2014 年度の実績を踏まえて設定。
- ② 障害者の雇用率達成企業割合
雇用率達成企業の割合は、過去実績から例年 1.4%pt 程度で伸びている。
このため、少なくとも例年の伸びと同程度以上の伸びは堅持することとして
設定。
- ③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職
に向けた次の段階へ移行した者の割合
直近 3 か年の実績の平均を目標値として設定

施策実施状況

- ① ハローワークにおける障害者の就職件数
2015 年度の就職件数は、90,191 件（前年同期比 6.6%増）
【障害種別ごとの就職件数】
身体障害者： 28,003 件（前年同期比 0.6%減）
知的障害者： 19,958 件（前年同期比 6.6%増）
精神障害者： 38,396 件（前年同期比 11.2%増）
その他障害者： 3,834 件（前年同期比 21.1%増）
- ② 障害者の雇用率達成企業割合
ハローワークにおいて雇用率達成に向けた厳正な指導を実施。
2015 年度は企業名公表数が 0 社。
（参考）2015 年 6 月 1 日現在の雇用状況
・雇用率達成企業割合： 47.2%（対前年差 2.5%pt 増）
【企業規模別の達成割合】
50 人～ 100 人未満 44.7%（対前年差 0.6%pt 増）
100 人～ 300 人未満 50.2%（対前年差 4.3%pt 増）
300 人～ 500 人未満 44.0%（対前年差 1.5%pt 増）
500 人～1000 人未満 44.6%（対前年差 2.9%pt 増）
1000 人以上 55.0%（対前年差 5.5%pt 増）
- ③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者（A）のうち、
就職に向けた次の段階へ移行した者（B）の割合
71.6%（（A）： 14,411 人、（B） 10,316 人）
【（参考）前年度】
66.4%（（A）： 12,881 人、（B） 8,555 人）

2015 年度施策実施状況に係る分析

① ハローワークにおける障害者の就職件数

2015 年度における就職件数は、90,191 件（前年度比 6.6%増）と過去最高を更新し、目標を達成した。精神障害者の就職件数（38,396 件：対前年度比 11.2%増）が大幅に増加し、身体障害者（28,003 件：対前年度比 0.6%減）の就職件数を上回った。

就職件数の増加については、(ア) 企業における障害者雇用への理解が進んでいること、(イ) 就職を希望する障害者が増加していること、(ウ) 関係機関との連携をはじめとした各種の障害者支援等が一定の効果を上げていることなどが要因と考えられる。

なお、就職率についても、関係機関と連携したチーム支援や障害特性に応じたきめ細かな支援を実施したこと、企業における障害者雇用への理解が進んでいること等により、2015 年度には 48.2%と昨年度から 1.0%ポイント上昇している。

② 障害者の雇用率達成企業割合

2016 年の障害者雇用状況報告（6 月 1 日時点）の結果を踏まえて分析する予定。

なお、2014 年度の実績（2015 年 6 月 1 日時点の障害者の雇用率達成企業割合）は 47.2%であり、前年度（2013 年度）から 2.5 ポイント上昇し目標を上回った。

③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合

2015 年度の精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者は 14,411 人、うち、就職に向けた次の段階へ移行した者は 10,316 人であり、その割合は 71.6%と目標（65%以上）を大幅に上回った。

精神障害者雇用トータルサポーターに対して目標及びその進捗を意識した業務実施を指示するとともに、経験交流会の開催により、支援ノウハウの共有を図るなど、支援の質の向上を図るための取組が一定の効果を上げてきていることなどが要因と考えられる。

施策の達成状況を踏まえた評価及び今後の方針

① ハローワークにおける障害者の就職件数

ハローワークにおける障害者の就職件数

就職件数は、前年度を上回っており、目標を達成した。引き続き、ハロー

ワークが中心となり、福祉、教育、医療等の各分野の関係機関と連携し、求職者の障害特性に応じたきめ細かな職業相談・職業紹介を実施する。また、今後も精神障害者等の求職者の増加が見込まれることから、就職支援コーディネーターや精神障害者雇用トータルサポーター等による専門的な支援を推進していくこととしている。

【2016年度の施策】

2016年度は（ア）障害特性に応じた就労支援の推進、（イ）地域就労支援の強化による職場定着の推進などを柱として、障害者に対する就労支援の充実を図っている。

具体的には、ハローワークと地域の福祉施設、特別支援学校等の関係機関の連携による「チーム支援」の推進やハローワークにおける精神障害者や発達障害者の専門員の配置などによるきめ細かな就労支援を実施している。

【（参考）2016年度の目標・目標設定額の考え方】

目標値：前年度以上

目標設定の考え方：2015年度の実績を踏まえて設定

② 2016年6月1日現在の障害者雇用状況

2016年6月1日現在の障害者雇用状況については、現在、集計中である。なお、2015年6月1日現在の民間企業における障害者の雇用状況については、雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新している。ただし、企業規模別に見ていくと、中小企業の実雇用率が低調となっていることから、中小企業を対象とした就職面接会や集団指導等を積極的に実施するなど、中小企業に重点を置いた取組を実施し、改善を図ることとしている。

【（参考）2015年度の目標・目標設定額の考え方】

目標値：2016年度の障害者雇用状況報告（6月1日時点）について、2015年度の障害者雇用状況報告（6月1日時点）と比較して1.5%pt以上上昇すること

目標設定の考え方：雇用率達成企業の割合は、過去10年（制度改革のあった2011年及び2013年を除く）の平均伸び率が前年比で約1.4%pt伸びている。このため、少なくとも過去の伸びと同程度以上の伸びを堅持することとして設定

③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合

様々な取組みにより 2015 年度の実績は 71.6%と目標を大幅に上回った。また、今後も精神障害者等の求職者の増加が見込まれるため、2016 年度においても引き続き、精神障害者雇用トータルサポーターの更なる質の向上を図ることで、求職者に対するカウンセリングや就職支援プログラムの効果を向上させていくとともに、事業主に対して、精神障害者等の雇用に係る課題解決のための相談援助を積極的に行う等総合的な支援を実施する。

【(参考) 2016 年度の目標・目標設定値の考え方】

目標値：就職実現に向けた次の段階への移行率 68%以上

目標設定の考え方：直近3か年の実績(※)の平均値を目標として設定。

※平成 25・26 年度については実績から面接訓練及び職場実習の数を外した値を用いている。

分科会委員の意見